



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 SHO-BI株式会社

コード番号 7819 URL <http://www.sho-bi.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役戦略室長兼管理本部長 (氏名) 鎌形 敬史

TEL 03-3472-7890

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日

平成26年6月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	8,144	—	279	—	296	—	266	—
25年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 331百万円 (—%) 25年9月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	19.85	—
25年9月期第2四半期	—	—

(注) 平成25年9月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年9月期第2四半期の実績及び増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	14,320	—	5,468	—	38.2	—
25年9月期	13,727	—	5,335	—	38.9	—

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 5,466百万円 25年9月期 5,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年9月期	—	5.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

第2四半期末配当は5月15日の取締役会で決議される予定です。

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,100	16.8	490	377.7	450	8.9	320	△33.5	23.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

対前期増減率は、平成25年9月期(第3四半期より連結決算)との比較であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期2Q	13,410,000 株	25年9月期	13,410,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年9月期2Q	85 株	25年9月期	85 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	13,409,915 株	25年9月期2Q	13,409,915 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年10月1日～平成26年3月31日)におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀による金融緩和などを背景に企業業績や雇用情勢が改善するなど緩やかな景気回復が続きました。個人消費においては、株価上昇に伴う資産効果や消費マインドの好転により高額商品を中心に売上が伸びるほか、節約志向が継続していた生活関連消費についても消費税増税前の駆け込み需要が売上を押し上げるなど明るさが見える一方、当社グループの主要取引先である小売業界では小売各種業態での出店の増加に加えM&Aの活発化など業態の垣根を超えた競争が激化し価格競争が激しさを増すなど、厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは「新しい事業、新しい販路、新しい調達拠点、新しい商品」のスローガンの下、「売上高成長による利益額拡大」という成長ステージの第2ステップの3年目に入りました。商品企画部を企画開発グループ、営業生産グループ、OEM生産グループの3グループに分け、より顧客ニーズに対応した自社企画商品をスピーディーに市場に投入できる体制づくりを進めております。この結果、アンチエイジング関連商品や初心者向けのつけまつげなど従来の当社グループの顧客層と異なる客層に向けた商品の開発が進みました。また、前連結会計年度に取り扱いを開始したコスメコンタクト®(注)1はプラザ、ロフトなどの高質なバラエティストアのほか、ドラッグストア、総合スーパーでの販売が順調に進んでいるほか、キャラクター商品に強みを持つ当社グループならではの新品「キャラコン」(注)2を上市するなど積極的な取り組みを行っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,144,662千円、営業利益は279,283千円、経常利益は296,472千円、四半期純利益は266,212千円となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間は、四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同期比については記載しておりません。

- (注) 1. コスメコンタクト®は、瞳を大きく魅力的に見せる、マスカラやアイライナーのようなメイク発想のコンタクトレンズです。
2. 「キャラコン」は、キャラクターコンタクトレンズの略称。当社の商標登録です。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

①化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は4,825,621千円となりました。

②コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,551,393千円となりました。

③服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は980,701千円となりました。

④その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト等の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は786,946千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて592,946千円増加し、14,320,038千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて753,935千円増加し、10,675,063千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が492,139千円、商品が114,279千円、為替予約が95,022千円の増加に対し、現金及び預金が24,604千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて160,989千円減少し、3,644,975千円となりました。これは、有形固定資産が23,908千円、無形固定資産が102,300千円、投資その他の資産が34,780千円減少したことによるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて459,753千円増加し、8,851,089千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて239,938千円減少し、4,694,599千円となりました。これは主に、買掛金が293,337千円、1年内返済予定の長期借入金が378,134千円の増加に対し、未払法人税等が231,588千円、その他が605,222千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて699,692千円増加し、4,156,490千円となりました。これは主に、長期借入金が1,064,050千円の増加に対し、役員退職慰労引当金が360,868千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて133,192千円増加し、5,468,949千円となりました。これは主に、利益剰余金が65,063千円、繰延ヘッジ損益が65,038千円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べて64,462千円減少し、2,391,843千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、使用した資金は、749,246千円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益324,554千円計上するとともに、仕入債務の増加259,934千円があったこと、役員退職慰労引当金の減少△360,868千円、売上債権の増加△511,887千円、法人税等の支払△323,514千円があったこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、獲得した資金は、41,959千円となりました。

これは主に、保険積立金の解約による収入76,764千円があったこと、有形固定資産の取得による支出△14,996千円があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、獲得した資金は、642,824千円となりました。

これは主に、長期借入れによる収入2,100,000千円があったこと、長期借入金の返済による支出△657,816千円、社債の償還による支出△550,000千円、配当金の支払△201,355千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表しました「平成26年9月期 第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、現時点においては、平成26年2月10日に公表しました連結業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,003,478	4,978,874
受取手形及び売掛金	2,596,888	3,089,027
商品	1,547,784	1,662,063
貯蔵品	87,674	111,343
為替予約	592,602	687,624
その他	115,683	153,796
貸倒引当金	△22,983	△7,666
流動資産合計	9,921,127	10,675,063
固定資産		
有形固定資産	1,956,698	1,932,789
無形固定資産		
のれん	667,332	594,532
その他	293,472	263,972
無形固定資産合計	960,805	858,504
投資その他の資産		
その他	891,547	873,937
貸倒引当金	△3,086	△20,256
投資その他の資産合計	888,461	853,680
固定資産合計	3,805,964	3,644,975
資産合計	13,727,092	14,320,038
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,092,188	2,385,526
短期借入金	200,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	1,164,732	1,542,866
未払法人税等	336,660	105,072
賞与引当金	137,000	108,000
返品調整引当金	32,500	36,900
その他	971,456	366,234
流動負債合計	4,934,537	4,694,599
固定負債		
長期借入金	2,922,334	3,986,384
退職給付引当金	55,214	41,049
役員退職慰労引当金	412,704	51,836
資産除去債務	37,035	37,207
その他	29,509	40,012
固定負債合計	3,456,798	4,156,490
負債合計	8,391,335	8,851,089

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,161,867	4,226,931
自己株式	△52	△52
株主資本合計	4,971,628	5,036,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,075	18,266
繰延ヘッジ損益	346,052	411,091
その他の包括利益累計額合計	364,127	429,357
新株予約権	—	2,898
純資産合計	5,335,756	5,468,949
負債純資産合計	13,727,092	14,320,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	8,144,662
売上原価	5,778,975
売上総利益	2,365,686
返品調整引当金戻入額	32,500
返品調整引当金繰入額	36,900
差引売上総利益	2,361,286
販売費及び一般管理費	2,082,003
営業利益	279,283
営業外収益	
受取利息	3,492
受取配当金	1,290
不動産賃貸収入	13,420
為替差益	19,413
その他	19,104
営業外収益合計	56,721
営業外費用	
支払利息	29,036
不動産賃貸費用	8,722
その他	1,774
営業外費用合計	39,532
経常利益	296,472
特別利益	
保険解約返戻金	28,196
特別利益合計	28,196
特別損失	
固定資産除却損	114
特別損失合計	114
税金等調整前四半期純利益	324,554
法人税、住民税及び事業税	96,035
法人税等調整額	△37,693
法人税等合計	58,341
少数株主損益調整前四半期純利益	266,212
四半期純利益	266,212

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	266,212
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	191
繰延ヘッジ損益	65,038
その他の包括利益合計	65,229
四半期包括利益	331,442
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	331,442

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	324,554
減価償却費	85,240
のれん償却額	72,799
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,852
返品調整引当金の増減額(△は減少)	4,400
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△14,164
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△360,868
受取利息及び受取配当金	△4,783
支払利息	29,036
為替差損益(△は益)	△34,568
保険解約返戻金	△28,196
売上債権の増減額(△は増加)	△511,887
たな卸資産の増減額(△は増加)	△137,948
仕入債務の増減額(△は減少)	259,934
その他	△62,012
小計	△405,610
利息及び配当金の受取額	7,658
利息の支払額	△27,780
法人税等の支払額	△323,514
営業活動によるキャッシュ・フロー	△749,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増減額(△は増加)	△5,289
有形固定資産の取得による支出	△14,996
無形固定資産の取得による支出	△7,900
保険積立金の解約による収入	76,764
投資有価証券の取得による支出	△5,682
その他	△936
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,959
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000
長期借入れによる収入	2,100,000
長期借入金の返済による支出	△657,816
社債の償還による支出	△550,000
配当金の支払額	△201,355
その他	1,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	642,824
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△64,462
現金及び現金同等物の期首残高	2,456,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,391,843

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。